

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して



静岡県教育委員会
教育広報紙

Eジャーナルしずおか

平成28年(2016年)
2月5日
金曜日
第167号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3168 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

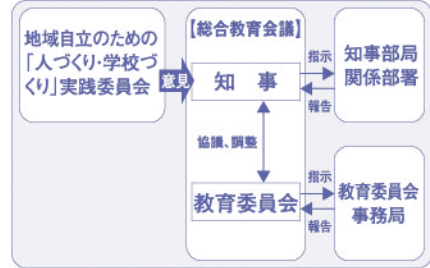
特集 静岡県総合教育会議

昨年4月、約60年ぶりに実施された教育委員会制度改革の一環として、すべての地方公共団体に設置されることになった「総合教育会議」。
本号では、本県に設置された「静岡県総合教育会議」の仕組みとこれまでの議論の概要を紹介します。

☆総合教育会議

地方教育行政法の改正に伴い、平成27年4月から、各都道府県・市町村に設置されることとなった会議。首長と教育委員会により構成され、地域における教育行政の指針となる大綱や重点的に講ずべき施策等について、協議・調整を行う。

○静岡県総合教育会議の仕組み



●これまでの開催状況は？

●静岡県総合教育会議の仕組みは？

本県では知事と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、より一層民意を反映した教育行政の推進を図ることを目的に静岡県総合教育会議を設置しました。

また、本県独自の取組として、総合教育会議における協議をより社会全体の意見を反映したものにすため、様々な分野の有識者による「地域自立のための『人づくり・学校づくり』実践委員会(以下、実践委員会)」を設置し、総合教育会議で協議、調整する議題等について、知事が意見を聴くこととなっています。

●これまでの開催状況は？

これまでに総合教育会議が4回、実践委員会が5回開催されました。2月5日に今年度最後の第5回総合教育会議が開催されました。会議の議事録などは県HPで公開されています。

●どんなことが議論されている？

昨年4月に開催された第1回会議において、今年度の協議事項に関して、教育に関する大綱の策定に係る協議のほか、重点的に講ずべき施策に係る協議として、①教職員及び高校生の国際化②人材バンクの構築③新しい実学の奨励④大学・大学院の充実の4項目とすることがされました。

◇出席者の発言を一部紹介(総合教育会議議事録より)

・最終的には教育における地方創生というものは、どういふものであるかという点について、個別の議論をしながら、静岡型の子どもの教育方法について共通した理念のよいものができるようにしたいと思っている。(川勝知事【第1回】)

○静岡県総合教育会議の開催状況

開催回(開催日)	主な議題	主な合意/協議事項
第1回(平成27年4月24日)	・総合教育会議の運営方法 ・今年度の協議事項	・教育に関する大綱の策定に係る協議を実施する。 ・重点に講ずべき施策に係る協議として以下の4項目とする。 (①教職員及び高校生の国際化②人材バンクの構築③新しい実学の奨励④大学・大学院の充実)
第2回(平成27年6月17日)	・教職員及び高校生の国際化	・教職員及び高校生の海外渡航を推進する。 ・高校生の海外渡航等に係る県民サポーター制度(基金を含む)の導入を検討する。 ・国際交流協会と学校との連携を強化する。
第3回(平成27年9月17日)	・社会総がかりの教育に向けた地域の人材の活用(人材バンク)	・人材バンクの構築を検討する(まずは、スポーツの分野から構築する)。 ・部活動支援のための地域スポーツクラブの設立を検討する(磐田市をモデルとする)。
第4回(平成27年12月17日)	・新しい実学の奨励 ・大学・大学院の充実 ・教育に関する「大綱」(素案)	・「新しい実学」の奨励に向けた取組をさらに充実させるための方策等を協議。 ・留学生を呼び込むための環境整備など、大学・大学院の魅力を向上させる必要性を確認。
第5回(平成28年2月5日)	・教育に関する「大綱」(最終案)	—



開催)では、5月に着任した木苗教育長が新たに出席者に加わり、教職員及び高校生の国際化を推進するための方策等について議論が行われ、高校生の海外渡航等に係る県民サポーター制度(基金を含む)の導入が提案されました。

第3回会議(昨年9月開催)では、直前の実践委員会で示された、教育現場に外部人材を活用することを目的とした「人材バンク」に関する提案を受け、同制度の構築及び部活動支援のための地域スポーツクラブの設立を検討することが合意されました。

第4回会議(昨年12月開催)では、農産、水産、工業、商業、家庭、福祉、芸術、スポーツなどの「新しい実学」の奨励と大学・大学院の充実に向けた具体的な方策や課題について議論が行われました。また、総合教育会議において、首長が策定することとされている教育に関する大綱(ふじのくに「有徳の人」づくり大綱)の素案が示されました。

第5回会議では、大綱の最終案の調整などが行われます。

実践NOTE 333

「書く力」を育てる ための単元の工夫

富士宮市立芝川中学校 教諭 渡邊 真規子



授業中の筆者

富士宮市の全体研修会(英語科)の今年度研究主題は「生き生きと英語で表現できる子の育成」で書く力を育てる評価と単元構想の工夫です。前年度までの「話すこと」に加え、今年度は「書くこと」に取り組みすることにしました。

その理由としては、生徒の英文を記録に残して、複数の教員で評価の妥当性・信頼性について協議できること、また、生徒の英語を表現する正確性を育てることを大切にしたいと考えたからです。本校英語科では市内全体研修と校内研修を結びつけ、3年生のUnitsで「書くこと」のパフォーマンス課題に挑戦しました。

単元を貫く課題の設定

3年生のUnits "Electronic Dictionaries - For or against" の単元構想に当たり、「話すこと」と「書くこと」を統

一的に取り入れたパフォーマンス課題を作り出した。パフォーマンス課題とは、単元全体を通じて生徒の学習意欲を持続させることができる「魅力的な課題」のことです。「話すこと」ができれば、「書くこと」が容易になることを考え、ディベートを「書くこと」を充実させるための手段」として単元を構想し、単元最後の「自分の考えを書く」前にディベートを行いました。

折よく、韓国栄州市の生徒が本校を訪問する計画があったため、それに関連付けてパフォーマンス課題(資料①)を作りました。実際に本校の生徒と英語の授業で交流する機会もあり、生徒たちは目的と相手意識を持つて、単元を貫く課題に挑戦しました。パフォーマンス課題でそれまでの取組の成果を十分発揮することができれば、生徒は達成感を味わうことができ、その後の英語学習への自信につながります。パフォーマンス課題と評価基準のルーブリック(学習到達度を示す評価基準を観点と尺度からな

る表として示したものは、単元の始めに生徒に提示します。そのため、生徒は自分が何に向かって努力をすればよいのかが分かり、教師側も形成的評価を効果的に行うことができ、それが個々の支援につながります。

資料①パフォーマンス課題
○10月23日に、韓国栄州市から20名の中学生が本校にみえます。昨年美咲さんが訪ねた学校の人たちです。その栄州市の中学生は、「日本で食べる給食をとても楽しみにしている。自分たちは家からお弁当を持っていくので、給食がうらやましい。」と話しているそうです。あなたが給食とお弁当のどちらがよいと思っているのか、次の点に気を付けて自分の考えを書いてください。まとめて、栄州市へ送ります。(以下気を付ける点を5つ表記)

逆向き設計の単元構想

単元の最後から2時間目に「お弁当と給食のどちらがよいか」というトピックでディベートを行いました。最終的に自分の考えをまとめて書くことができるように、トピックに対する自分の意見を少しずつ書きためていくという「逆向き設計の単元構想」をしています。

が熟成し、教師が予想しなかったような主張を展開したり、過去に学んだ教科書本文を使って英文を作成(資料②)するなど、生徒の意欲的な姿が見られ、不安だったディベートが少しずつ楽しめるようになってきました。最後のパフォーマンス課題では、ほとんどの生徒がA4サイズの用紙に英文を書くことができました。

資料②既習事項を参考にした生徒の英文(例):
Imagine! If you're hungry, we don't know what the lunch box menu is. So we can enjoy waiting lunch time. 【解説: NEW HORIZON2 "Magic Box"には、"Imagine! People can go to the market and..."の文章があります。暗記などで定着したこの言い回しが、今回のディベートに表出したと考えます。】

豊かな実践に向けて

単元を終えた生徒の感想から、ディベートを楽しめたこと、書く力が付いたことを実感できた様子などがうかがえました。3年間を見通して書く力を育てるために、これからも統合的な視点から単元を構想することを大切にしていきたいと思っています。そしてどうしたら「魅力ある」身に付けた力が身に付く「パフォーマンス課題」を作ることができると、模索していきたく思います。

本校では「ともにあゆみ、ともにかがやく」を教育目標に、「自分のやる事が分かり、主体的に活動に取り組み、そしてできるようになったこと」が他の場面にも広がり、教師や友達との関わりや地域とのつながりの中で自分らしく生活するようになってほしい」という思いを持って日々取り組んでいます。

そして、小学部では、児童の主体的な姿を引き出すために、児童の思いや考えを大切に授業づくりとはどのようにすればよいかを考えながら、日々の実践に取り組んでいます。そのための方法

実践NOTE 334

「○○で あそんじゃおう!」 遊びの指導って??

静岡県立清水特別支援学校 教諭 宮原 浩寿



児童と一緒に遊ぶ筆者

として①フローチャートを活用した授業づくり②3つの支援の観点(興味を持って、やる事がわかる、達成感が持てる)と4つの工夫の観点(環境設定、活動設定、教材教具、働きかけ)に基づいた支援を検討・実践③行った支援が適切であったか検証し、改善すると

を通じて、休み時間の充実や余暇活動の遊びの広がりや期待しています。乗り物は、自転車、三輪車、キックボード等を用意し、トンネルや緩やかなスロープ、デコボコなコースを設置しました。

私たちは、子どもの気持ちに寄り添った授業づくりを行うため、子どもの気持ちを想像し書き表した「フローチャート」を使って授業構想を組み立てています。繰り返しの学習の中でも子どもたちの動機づけを大切にしたいので、高橋生を含む100人以上の表彰者が集い、感動的なフィナーレとなります。

その後、いよいよ2016シーズンの開幕です!! 「春の祭典」2016授賞式「2016総合開会式」



スロープコーナーを楽しむ様子

フロアチャートを活用した授業づくり

ふじのくに芸術祭2015の入賞者の授賞式を行います。全部門合同なので、高校生を含む100人以上の表彰者が集い、感動的なフィナーレとなります。

「遊び」を通して目指す姿

「遊ぶ」という3点に重点を置いて取り組んでいます。

「もつとやりたい」

遊びと「遊ぶ」こと

子どもたちの夢中にな



二人乗り三輪車に挑戦!



のりのりランド(全体)



静岡室内楽協会の演奏の様子

会場 静岡県立美術館講堂 (静岡市駿河区谷田)
入場無料・予約不要
問 県文化政策課
054(221)2254

平成27・28年度 人権教育研究指定校 金谷高等学校の実践

県立金谷高校では研究テーマとして「差別や偏見のない社会を実現するために、自他の存在を認め、主体的に行動できる生徒の育成」をかかわり合いを通して「」を掲げ、27年4月から人権教育の研究に取り組んできました。その取組を紹介しました。

県立金谷高校では研究テーマとして「差別や偏見のない社会を実現するために、自他の存在を認め、主体的に行動できる生徒の育成」をかかわり合いを通して「」を掲げ、27年4月から人権教育の研究に取り組んできました。その取組を紹介しました。

そこで「人権教育は日常の教育活動の中に存在し、その中で人権感覚や人権意識をほぐむことができる」という仮説を立て、その効果を検証することにしました。

ではLGBT(性的少数者)に関する記事を用いて知識を深めたり、外国語の授業では他者理解につながるコミュニケーション能力の向上を目指したプログラムを取り入れた人権教育を意識してきました。

また、学校行事やホームルームなどでも人権教育を意識して取り組みました。具体的な活動としては、人間関係づくりの体験学習を通じたソーシャルスキルトレーニング、障害者の方から直接話を聞く福祉講話、静岡平和資料センターへの遠足、大井川河川敷の清掃活動、デートDV防止出前セミナーなどです。友達との



福祉講話の様子

現状把握と共通理解

まず、生徒の現状を把握するために6月に人権に関するアンケート調査

を実施しました。「人の気持ち」がわかる人間になりたいですか」「友達は頑張ったことを認めてくれますか」などのアンケートを実施した結果、学年が上がるにつれて、人権に対する理解や意識が高まっていることがわかりました。

また、職員研修の中で教育活動の人権教育の視点で振り返り、現在行っている教育活動の中に人権教育に関わることが多いということについて、共通理解を図りました。

日々の授業では、教師が生徒一人一人の力に応じて、良い点や努力した点を認め、褒めたり、生徒のつぶやきをうまく拾い上げたりするように心がけました。また、生徒が互いに教え合ったり、自分とは違う人の意見を聴いたりする機会や場面を設けるように努めました。地理・歴史、公民の授業

また、学校行事やホームルームなどでも人権教育を意識して取り組みました。具体的な活動としては、人間関係づくりの体験学習を通じたソーシャルスキルトレーニング、障害者の方から直接話を聞く福祉講話、静岡平和資料センターへの遠足、大井川河川敷の清掃活動、デートDV防止出前セミナーなどです。友達との

「学びの実感」を積み重ねる授業を目指して

静岡県の目指す授業 「重さの違う二つの振り子」

静岡県では、どの子どもにも「確かな学力」をはぐくむために、子どもが「学びの実感」を積み重ねる授業を目指し、授業改善に取り組んでいま

す。「学びの実感」とは、な」と問いかけると、多くの子どもは、おもりの重い振り子の方が早いと予想しました。そこで、演示実験を行うと、子どもからは「あれ?」「なぜだろ?」という声が上がりました。『どうして重さが違うのに一往復する時



振り子の実験の様子

間が同じなのだろう」という「子どもの問い」が生まれ、瞬間です。この問いを基に、「振り子が一往復する時間は、何に関係するのだろうか」という単元を通して解決する課題が成立しました。子どもたちは、課題を解決するために自分なりの仮説を立て、検証方法を考えました。その際、自分が確かめたいこと以外の条件はそろえろとといった、5年生の問題解決の能力

「条件制御」も育成されたいです。子どもたちは、『どうやったらどうだろう』『できそうだ』と学びの過程でわき上がる手応えを感じながら、自分たちの考えた方法で、課題を解決していききました。

「彩色で立体感を出す」

中学校3年生の美術、自画像を描く授業です。有名な画家の筆づかいで描かれたりんごの絵と平塗り(絵の具を均一に塗る技法)で描かれたりんごの絵を提示し、彩色による立体感を比較します。子どもたちの中に『どうしたらこのように

描けるのだろう』『自分もこのように描いてみたい』という思いが生まれました。そこで、自分がイメージした立体感を出すために、提示された事例を参考にしながら、りんごの輪郭が描かれた画用紙に彩色してみました。子どもたちは『筆の使い方を覚えてみよう』『色の



画家の筆づかいで描かれたりんごの絵

重ね方を工夫したらどうだろう』など、例示された作品を参考に技法について試行錯誤をしていきました。その過程で、色の置き方や濃淡で光を表す幅広い表現を生み出していったのです。

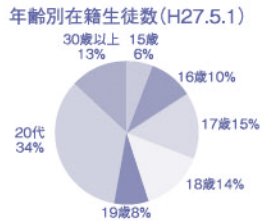
新たな彩色の技法を身に付けた子どもたちは、『自分にも描けそう』という手応えを感じ、自画像の制作に主体的に取り組まれました。授業の主役は子どもです。その子どもたちに「確かな学力」をはぐくんでいくために、これから『学びの実感』を積み重ねる授業づくりを目指していきます。

【静岡教育事務所】

【福利課】

いつでもどこでも誰でも学べる 通信制高校

静岡中央高校通信制の課程は、1500人余りの生徒が在籍する県内唯一の公立通信制高校です。年齢構成も幅広く、20歳以上が全体の47%を占めています。



○通信制の学習の流れ

通信制高校での学習は、「レポート」「スクーリング(面接授業)」「テスト」の3つから成り立っています。

生徒は、課題ごとにレポートを仕上げ、返送されてくる添削内容を確認し、レポートを完成させていきます。レポートを進めながら、学習内容の理解を助けるため、都合の良い時間に必要科目のスクーリングに出席します。スクーリングは県内3つのキャンパスで日曜日と平日の週2回実施しています。そして、ある程度レポートが進むとテストを受けます。

こうして決められた単位数の修得、在籍期間、特別活動への出席などの条件を満たすことで高校を卒業することができます。

○特色ある活動

学校行事は、修学旅行、体育大会、遠足、生徒総会などがありますが、参加は各自の判断に任されているのが特徴です。多様な学びをサポートする体制として、レポート作成支援、仲間と学べる県内7カ所の学習会など、丁寧な学習支援が行われています。また、対人関係が苦手な生徒を対象にコミュニケーションスキル講座を開講して、生徒の社会性のスキルアップを図っています。



スクーリング風景

○多様な進路

卒業後の進路は進学、就職など様々です。平成26年度には約13%の生徒が四年制大学に進学しており、自学自習を基本としながらも、高い目標を持った生徒に対しての支援体制が充実しているため、国立大学への進学者もいます。

(参考)過去の進学先
静岡大学、静岡県立大学、静岡文化芸術大学、浜松医科大学、筑波大学、横浜国立大学等

○入学説明会

2月24日(水)に入学説明会を東部・中央キャンパスで開催しますので、お気軽にお問い合わせください。中学校からだけではなく、高校からの転入や中途退学者の編入も受け付けています。

問 静岡中央高校 東部キャンパス 055(928)5757、中央キャンパス 054(209)2431、西部キャンパス 053(595)1300 【高校教育課】

総合教育センター
みずほAngle
学校における
ビジョンづくり
の過程

あなたの学校のビジョンは何ですか。ビジョンは共有されていますか。ビジョンとは、数年後の「目指す将来像」のことであり、それは学校内外の関係者が魅力を感じ、関心を抱き、成果を期待できるものでなければなりませんとされています。

初めて効力を持ちます。A校では、各教科、各分掌の立場から、どんな実行策が考えられるかを検討し始めました。学校の内外を問わず、活用できる人・団体、施設・設備、情報ネットワーク、学習内容・方法などがなければなりません。起こし、それらをつなぐことを考えたり、不足している場合は開発することを考えたりしながら検討を進めました。

その後、それぞれが考えた実行策を持ち寄り、ワークショップで報告し合いました。実行策の中には、着手容易なものもあり、まずはそれらから取り組むことになりました。教職員の中から、自然と拍手が起きました(教職員の中に、この人たちとだったら、楽しく学校づくりができそうだという自信と期待が膨らんだのではないかと思います)。

今後、A校は3年後のビジョンに向け、成果が見込まれると考える短期的、長期的な実行策に取り組んでいきます。実行策を固定的なものにせず、教職員一人一人の取組を通じて常に見直されるものとして、組織的、継続的に改善し続けることが大切です。

(※)ビジョンはある程度、抽象度が高く、様々な思いをこらえた、大きな枠組み、細かな数値目標をビジョンに掲げるようなことはおおよそ適切ではない。

全教職員による
ビジョンづくり

A校では、教職員全員参加のワークショップを行い、自校の強みや特徴を踏まえつつ、子ども、保護者、地域住民の期待に応えられる、3年後のビジョンを語り合いました。グループ発表では、奇抜なアイデアあり、やっばり同じことを考えていたのかと思うこともあり、笑いに包まれ、教職員の一体感が高まりました。

しばらくしてA校では、ビジョンの一つを「グローバル社会において、多様な人々と協働していくことができる生徒が育つ学校」としました(※)。

【専門支援研修班】

【専門支援研修班】

平成28年度県政インターネットモニター募集中!

インターネットを利用して、県が行う施策に関するアンケートにご協力いただけるモニターを募集しています。県政に詳しくなくても、選択式のアンケートですので、自分の考えを率直に回答いただければ大丈夫です。高校生も参加いただけます。ぜひ応募ください。

詳しくは

◇主な活動内容 インターネットを利用したアンケート調査への回答等(年16回程度)

◇募集人数 500人程度

◇任期 平成28年4月1日～平成29年3月31日(1年間)

◇応募要件

- 静岡県内に在住又は通勤・通学している満15歳以上の方(※平成13年4月1日以前に生まれた方が対象)
- ただし、県職員、公立学校教職員、警察職員、県議会議員は応募できません。
- インターネットと日本語による電子メールが利用できる方
- 事前に「しずおか電子申請サービス」で、「申請者情報登録(申請者IDの取得)」が必要になります。
- 過去に県政インターネットモニターを経験したことがある方も応募できます。
- インターネットへの接続料及び通信料はモニターの負担となります。

◇応募方法

- 県ホームページ内の「モニター応募フォーム」から、必要事項及び応募動機等を入力の上、ご応募ください。

◇募集期間 平成28年1月12日(火)～平成28年3月8日(火)

◇謝礼 図書カード(予定)

◇選考結果 募集期間終了後に選考を行い、応募者全員に結果を電子メールでお知らせします。

問 静岡県企画広報部広報課
TEL 054(221)3232 Eメール koe@pref.shizuoka.lg.jp

WAZAチャレンジ教室 参加校募集!

職人さんと一緒に、ものづくり体験をしませんか?
職人さんが学校を訪問し、木工や日本料理などのものづくりの技を教えます。

平成27年度は32校2,036人が受講し、ほぼ100%が「楽しかった」と回答しています。

◇実施期間 平成28年5月～12月


◇対象 小・中学生(小学5年生以上)、特別支援学校生

◇参加費 小・中学生2,000円、特別支援学校生1,000円(一人あたり)

◇申込期限 平成28年2月15日(月)


◇その他 申込は学校単位でお願いします。
※詳細は県ホームページをご覧ください。

問・申 静岡県経済産業部職業能力開発課
TEL 054(221)2954 FAX 054(271)1979



平成27年度富士山の日歴史講演会 気候と歴史の関係から何を学ぶべきか
～弥生時代の静岡平野の遺跡を焦点として～

遺跡から発掘された木材の年輪に含まれる酸素の同位体(原子核の陽子数が同じで、中性子数が異なる原子)比を測定することで、その木材の年代を1年単位で決定し、当時の気候変動を明らかにする画期的な方法が確立されています。本講演では、弥生時代の静岡平野を焦点として、出土した木材から読み取れる気候変動が、当時の人々の生活にどのような影響を与えてきたかについて、詳細に紹介します。



◇日時 2月20日(土)14:00～(13:30開場)

◇会場 静岡県立美術館講堂(静岡市駿河区谷田53-2)

◇講師 中塚 武氏(総合地球環境学研究所教授)

◇その他 定員200人(先着)、入場無料

問 県埋蔵文化財センター
TEL 054(262)4261 FAX 054(262)4266

Eメール maibun_tyosa@pref.shizuoka.lg.jp

「ホッとキャンプ」～みんなで過ごそう～

◇日時 3月1日(火)14:00～3月4日(金)11:30(3泊4日) ※現地集合・解散

◇会場 静岡県立朝霧野外活動センター

◇参加費 16,000円(宿泊費、食材費、保険代など)

◇対象 学校に行くことに困難を覚える児童、生徒及び引きこもりがちな青年(小学校3年生～20歳程度)

初めて参加するという人も、スタッフが一緒にいるので大丈夫。ゆっくりやってくる朝霧の春の中で、ご飯を作ったり、ハイキングや外遊びをして、みんなで一緒に過ごしませんか?

問 静岡県立朝霧野外活動センター(指定管理者:日本キャンプ協会グループ)
TEL 0544(52)0321
HP http://asagiri.camping.or.jp/

EDITOR

一面では、静岡県総合教育会議の特集記事を掲載しています。記事の作成に当たっては、関係者の協力を得て、学校関係者を含め、どれだけの人々がどの程度この会議のことを知っているのかという点について、自分自身、教育委員会に異動になるまで、恥ずかしながら、この会議のこと

しばらくすると、右手に「やぶきた原樹」が見えてきます。香りがよく、甘みのある「やぶきた茶」。現在日本で作られている緑茶の80%を占める「やぶきた」品種の原樹です。生みの親である杉山彦三郎翁の顕彰碑もそばに建っています。

もう少し上っていくと、美術館園地の入り口に「漢白玉石獅子像」が見えてきます。昭和62年、静岡県と中国浙江省との友好提携50周年を記念して中国から贈られたものです。

この先の美術館へのアプローチは、木道である「プロムナード」には、樹木の中に国内外

の彫刻家による作品が12点設置されています。足を止めて一つ一つ鑑賞するのもよいでしょう。

彫刻をたどっていると、美術館、中央図書館の入り口が見えてきます。疲れた方は、美術館内のカフェで一服してもよいでしょう。美術館のカフェ&レストランでは企画展ごとに展示内容にちなんだ特別料理がメニューに加わります。

まだまだ歩きたい方は、美術館の裏山が遊歩道として整備されています。ここでは「谷田古墳群」を見ることができ、古墳遺跡に興味があれば、図書館の3階展示室へお越しください。埋蔵文化財センターが、静岡県による発掘調査で発見された遺跡・遺物・出土品・写真等を展示し、静岡県の歴史について解説しています。

県立中央図書館 プロムナード 散歩のススメ

春の陽気になるまであと一息ですね。寒くて外に出るのがおっくうになり、つい家に閉じこもってしまいがちで、外出するときは、乗り物での移動ばかりになっていないでしょうか。たまには体を動かすために散歩をしてみませんか。静岡鉄道の県立美術館前駅から中央図書館までの道のりは、散歩にちょうどよい距離です。見どころと合わせてご紹介します。

県立美術館前駅で下車して、南幹線に向かって坂道を上ります。南幹線を渡ると車道としっかり区分された広めの歩道があるので安心して歩くことができます。

遊歩道の一番上「ロダン館裏山展望台」では、静岡市街が一望できる素晴らしい眺めを楽しめることができます。

展望台から図書館に向かう途中には「鈴木梅太郎博士像」があります。博士は牧之原市生まれの戦前の農学者で、脚気(かつけ)に有効なビタミンB1を発見しました。

ここまで歩いたら体も温かくなった頃だと思えます。次は心を温めるために中央図書館へ。78万冊ありある蔵書の中から、知的好奇心を満たすものを探してください。カウンター職員が本を探すと手伝いをしますので、お気軽に声をかけてください。

【中央図書館総務課】

GRANSHIP 徳川家ゆかりのおひなさま 日本の伝統文化や歳時記に触れる機会です

高松宮妃のおひなさま展

2/21日～3/6日

10:00～17:00 | 会場/グランシップ 6階展示ギャラリー (入場は16:30まで) | 入場無料

徳川慶喜公の孫にあられる高松宮妃喜久子さまが昭和5年の御成婚の際にお持ちになった京雛を年に一度のお披露目として展示します。幅約6m、高さ3.6mの大きさで、600点を超える調度品には、ひとつひとつに葵の御紋があらわれ、見応えのある雛飾りです。期間中、ギャラリートークや等のミニコンサートもありますので、世代を超えてお楽しみいただけます。ベビーカーや車椅子でもお気軽に。

同時開催の答礼人形「富士山三保子」里帰り展もごらんいただけます。

主催:(公財)静岡県文化財団、静岡県

【お問い合わせ】グランシップチケットセンター/TEL 054-289-9000(営業時間10:00～18:30)